

# 超低炭素建築を支える 空調システムと設計・制御

2019/12/13 **金**

13:30-17:00 (13:00開場)

NSホール

■主催: 空気調和・衛生工学会

超低炭素社会構築を現実のものとするために、今後の建物建設や既存建物の機能改修では、ZEB指向型の超低炭素建築ストックへの移行が加速すると考えられる。

超低炭素建築において実現される温熱環境や空調熱負荷形態は、これまでの常識から変様すると考えられ、それゆえ今後の空調システムの設計・制御の考え方も、多様な発想を以て対応すべき状況となっている。

これを背景に、空気調和設備委員会 空調システムの設計・評価検討小委員会では、超低炭素建築の熱負荷特性の分析や、今後の空調設備を支える先進的なシステム事例の収集と課題抽出、さらにはシステム効率向上に資する実績評価や試算などを行って来た。

そこで、本シンポジウムでは、本小委員会の検討成果を参加者と共有し、今後の空調システムの設計・制御法のあり方について、情報交換と議論を行うものとした。

今後展開する超低炭素建築時代における空調システムの方向性を議論するために、実務者および研究者の多くの参加をお願いしたい。

## Program

13:30 ~ 15:05

- ・趣旨説明～今後の空調設計・制御の視点
- ・超低炭素建築時代の空調熱負荷条件
- ・超低炭素建築時代の空調熱負荷傾向
- ・ペリメータの考え方と負荷処理の展望
- ・外気負荷処理と空調機の在り方の展望
- ・中温冷水利用空調システムの設計と展望
- ・放射空調システムの設計と展望
- ・質疑応答

田中 英紀(名古屋大学)  
井上 聡(トーエネック)  
菰田 裕士(三井住友建設)  
菰田 英晴(鹿島建設)  
尹 奎英(名古屋市立大学)  
中川 優一(日本設計)  
宮坂 裕美子(日建設計)

～休憩～

15:15 ~ 17:00

- ・デシカント空調システムの設計と評価
- ・デシカント空調システムの事例と実績
- ・新たな自動制御を用いた高機能化空調
- ・IoT・AIを活用した空調制御の高度化
- ・建築ストックの更新とシミュレーション活用
- ・環境配慮型建築の社会的価値と投資対効果の評価
- ・空調分野の新たなビジネスモデル創出の観点
- ・総合討論・まとめ  
(17:00 終了)

鵜飼 真貴子(名古屋大学)  
笹本 太郎(東京ガス)  
太宰 龍太(アズビル)  
渡邊 剛(NTT ファシリティーズ)  
吉岡 沙野(日建設計)  
丹羽 英治(日建設計総合研究所)  
野部 達夫(工学院大学)

### ▶ 申し込み方法

シンポジウム名、参加者氏名、勤務先・所属、連絡先(住所、電話・FAX番号)、会員・一般・学生の別を明記して、HPから、またはFAXにてお申し込み下さい。

### ▶ 申し込み先

空気調和・衛生工学会  
HP : <https://aps.shasej.org/entry/index.aspx?id=527>  
TEL: 03-5206-3600 FAX: 03-5206-3603

### ▶ 定員

80名(先着順)

### ▶ 参加費

会員・3,000円 一般・4,000円 学生・1,000円  
(税込み・当日支払いのみ)

### ▶ 所在地

日建設計竹橋オフィス・NSホール  
東京都千代田区一ツ橋1-1-1  
パレスサイドビルディング8F(809号室)

### ▶ アクセス

東西線「竹橋駅」からお越しの場合は、1b番出口をご利用ください。(駅直結)

半蔵門線、新宿線、三田線  
「神保町駅」からお越しの場合は、A8番出口をご利用ください。(徒歩5分)

